

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.byoujihoiku.ne.jp>



病児保育協議会ニュース



= 今号の目次 =

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1 頁 協議会メール | 医療法人福田こどもクリニック 病児保育室「とらいあんぐる」 |
| 2 頁 加盟施設紹介
ますだ小児科「病児保育室バンビ」
津病児デイケアルーム「ひまわり」
北海道社会保険病院こどもデイサービスセンター | 病児保育施設「レインボールーム」
白子クリニック 病児保育室「ハピールーム」 |
| 3 頁 加盟施設紹介
医療法人誠仁会 病児保育室「なかよし」 | 4 頁 ブロック便り 関東ブロック・中国ブロック |
| 5 頁 加盟施設紹介
医療法人悠希会病児保育所「げんき キッズ」 | 5 頁 ブロック便り 東北ブロック |
| | 6 頁 診察室から4・リレー保育日誌4 |
| | 7 頁 新規加入施設紹介 |
| | 8 頁 新規加入施設紹介 |

協議会メール

全国病児保育協議会副会長 木野 稔

平成16年の出生数が110万7千人と発表され、出生数の低下はとどまるところを知りません。政府は平成16年12月に「少子化社会白書」を発表しました。

これは、少子化社会対策基本法に基づいて、少子化の現状や関連施策の状況をまとめたものです。第2次ベビーブーム世代の女性が30歳台前半の出産適齢期にあたる今後5年間を「少子化の流れを変えるチャンス」として、安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができるよう、そして子どもの出生や子育てにメリットがあると認識できる施策を積極的に展開することが重要であるとしています。

また、同じく少子化社会対策基本法で定められた少子化社会対策大綱(平成16年6月発表)を受けた形となる新しい少子化対策実施計画「子ども・子育て応援プラン」がこの平成17年4月から新たに始まります。

国の少子化社会対策は、平成7年度からエンゼルプランが始まり、平成12年度からの新エンゼルプランへと引き継がれてきました。これらエンゼルプランでは子育てと仕事の両立支援の観点から、主に保育関連事業の拡大と充実を目指し対策が取られてきましたが、少子化の波を止めることができなかつたのはご存知の通りです。

そのため、政府は平成14年に「少子化対策プラスワン」を提案して、両立支援だけでなく子育てをする

家庭の視点から全体として均衡のとれた取り組みの必要性を指摘しました。そして、平成15年に成立した少子化社会対策基本法とともに、次世代育成のための幅広い支援へと国の施策が展開することになったのです。

今回の子ども・子育て応援プランでは、少子化社会対策大綱で取り上げられた4つの重点課題(若者の自立とたくましい子どもの育ち、仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し、生命の大切さ・家庭の役割等についての理解、子育ての新たな支えあいと連帯)に沿って構成し、子どもを生み育てやすい環境整備を進められているという実感がもてる計画づくりを課題としています。概ね10年後を展望した「目指すべき社会の姿」を掲げ、それに向けて内容や効果を評価しながら、この5年間に施策を重点的に実施するとなっています。

少子化社会対策基本法と両輪をなす形で成立した次世代育成支援対策推進法および子育て支援事業を法律に位置づけた改正児童福祉法も平成17年4月から施行されます。次世代育成支援法は、地方公共団体と企業(従業員301人以上)に対して行動計画を策定して育児支援を行うことを求めています。子ども・子育て応援プランでは乳幼児健康支援一時預かりの推進を、17年度は550か所に増やす計画で概算要求されていますが、平成21年度の目標値を

1500か所まで上げています。

これは地方自治体の行動計画の目標値の集計結果を踏まえたものとして実現を目指すとしていますので、今後の全国の市町村の取り組む姿勢にかかっているわけです。我々にとっては数を増やすことも重要ですが、数だけにとらわれて実体が伴わないことにならないように注意して見守りたいと思います。

このように、国や地方行政から矢継ぎ早に少子化社会対策として計画が打ち出されるのは喜ばしいことで、本協議会設立の頃にご苦労された先輩諸氏は隔世の感を持たれていることと思います。

一方、病児保育活動を日常行っている協議会のみなさんは乳幼児が病気になったときにこそ子育て支援の重要性と問題点が凝縮して現れることを実感しておられることでしょう。百花繚乱のように打ち出される施策の中で、本事業が子育てを行う全ての家庭への支援として欠かせないことを確かめ、国や社会一般の認識をもっと高める必要があることを強調したいと思います。

協議会では、昨年から研究大会の地方持ち回り開催を始めましたが、研修プログラムを整備して研修制度を編成しなおすなど質をより一層高めるとともに、地方やブロック組織を充実させて活動強化を進めることが求められています。我々にとっても今後の5年を正念場としたいものです。

加盟施設紹介

ますだ小児科

病児保育室バンビ

当施設は、広島市に囲まれた安芸郡府中町に、平成13年に開設しました。定員は4名ですが、広島市からの利用者のためにさらに2名を受け入れています。昨年は717名の方が利用されました。保育士と看護師が協力して、検温、薬の内服、スキンケア、食事の介助などを行い、一緒に遊んで過ごし、子どもたちが安心できる環境づくりを心がけています。

また、火・木・土に児童心理相談員が育児についての悩みをかかえる保護者に対してカウンセリングや遊戯療

法を行っています。小児科の待合室に保育士が常駐しています。来院されるお子さんの遊び相手と保護者のサポートを行っています。現在3名の常勤保育士が病児保育室と医院をローテーションしながら活躍しています。
施設長 増田 宏
所在地 :735-0021
広島県安芸郡府中町大須3丁目8-56
TEL:082-508-2323



津病児デイケアルーム

「ひまわり」

当施設は、津市の乳幼児健康支援一時預かり事業として平成10年7月に(医)熱田小児科クリニック内に開設されました。定員は4名で、現在は2市3町1村(平成18年1月に合併を予定している市町村の一部)に在住する0歳~小学6年生までの子どもたちを対象としています。

クリニック内には院長の自宅もあり、外来診療の合間など一日に何度も子どもたちの様子を見に来てくださるので、私達スタッフも毎日安心して保育看護を行っています。

年々利用希望者が増

え、待機児の増加等にも頭を悩ませています。『保護者が安心して預けられる、子どもたちが一日安心して過ごせる場所にしたい』という初心を忘れずに、より一層努力していきたいと思っています。

保育士 黒宮 恵子
所在地 :514-0834
三重県津市大倉 13-14
TEL:059-225-7100



北海道社会保険

こどもデイサービスセンター

北海道社会保険病院は「地域医療への貢献」「子育て支援」の2つを基本方針とし、ベッド数350の急性期病院です。「地域に密着した病院であること」は、病院全体の目標でもあり、その中で当院は札幌市の委託を受けて、こどもデイサービスセンターを併設しています。

平成13年7月に札幌市では2つ目のこどもデイサービスセンターとして開設し、平成16年11月までの登録者数は900人を超え、利用者数は約2,600人。子ども達に『病院の保育園』と言

われて親しまれています。

私達職員は、子ども達の笑顔が何よりの元気の源です。そんな子ども達の笑顔が絶えないよう、明るく家庭的な雰囲気をモットーに、保育と看護の両面で充実していきたいと思っています。

保育士 鈴木 千珠
所在地 :062-8618
北海道札幌市豊平区中の島1条8丁目3番18号
TEL:011-831-3300



医療法人誠仁会

病児保育室なかよし

当施設は、平成16年4月に人口3万3千人、織物と学園の城下町、都留市武井クリニックに併設されました。対象は、はしか以外の生後4ヶ月から年長位のお子さんで、定員は4名です。

運営は行政からの補助金を受けることが出来なかったため、只今関係機関に働きかけるなど、努力中です。現在までの利用者数は、祖父母が近くにいる御世話をしてくれる地域性もあってか、数はまだ少ないとはいえ、これから保育室を利用したいという保護者の声は、沢山私たちに届い

ています。

「保育に困っている方々への子育て支援」を目標に、お子さんには絶えない笑顔と惜しめない愛情を注ぎ、なかよしという名前に負けないくらいみんなが仲良くいられる雰囲気の部屋にするため、これから努力して行きたいと思っています。

保育士 長坂 尚美
所在地 :402-0025
山梨県都留市法能 670
TEL:0554-45-6847





加盟施設紹介



医療法人 悠希会

病児保育所「げんき キッズ」

行田市は埼玉県北部田園風景の広がる三世代同居世帯の多い人口8万人の町です。施設長は地域密着型の医療を目指し行政に働きかけること7年、H13.4に開所しました。

本来なら子どもが体調を崩すと家庭のゆったりとしたくつろぎの中で回復を図ることが最も望ましいと考えますので私共はあえて設定保育など型に捕らわれることなく体調を考慮に入れたうえで病児の興味を示すことから遊びを展開してゆくことに心がけています。その為には日頃より引き出しやらポケット

を一つでも多くと努めております。又、昨年10月24日には埼玉県内の病児保育の充実を図るため、三施設が集い情報交換と懇親を兼ね会食をしました。

子どもにとってのより良い保育看護が出来るよう力を合わせてゆきたいものです。
看護師 大部玲子
所在地:870-0943
埼玉県行田市小見1401-1

TEL:090-8111-875



医療法人 福田こどもクリニック

病児保育室「とらいあんぐる」

私達の施設は、県内初の医療機関併設型病児保育室として、平成14年10月11日に開設しました。

子ども達、保護者、そして私達スタッフの三者がお互いにより良い関係を築き上げられるようにと、「とらいあんぐる」と名付けました。

スタッフは、看護師1名、保育士4名ですが、施設がクリニックの駐車場内にあるので、昼休みに院長と看護師が子ども達の回診にあたります。定員は4名ですが、多い時は、それを上回ることも度々あり、定員増も

時間の問題かもしれません。

親から離れる不安な子ども達が、暖かい家庭的な雰囲気の中で、安心してからだを休め、楽しく穏やかに一日が過ごせることを目標に、食事の面でも体調に合わせ提供できるよう努力しています。

看護師 鶴原 貞江
所在地:320-0852
栃木県宇都宮市下砥上町1545-20
TEL:028-659-8850



病児保育施設「レインボールーム」

平成9年4月に、玉名市の委託事業として開設した、医療機関併設型の病児保育施設です。

定員は5名で、0歳から小学校就学前までのお子さんをお預かりしています。

平成13年4月より、利用範囲が近隣の二市八町となり、多くの子どもたちが利用しやすくなりました。

当施設は、ガラス張りで明るく、部屋には四季折々の壁面飾りを工夫し、病気中の子どもたちが安心して過ごせるよう、看護師と保育士が協力し合い日々頑張っています。

看護師 田堀 恵子
所在地:865-0061
熊本県玉名市立願寺151-3
TEL:0968-72-4770



白子クリニック

病児保育室 ハピールーム

鈴鹿市の委託を受けて白子クリニックが産婦人科と小児科の横にハピールームを開設し、今年の5月で2年が経ちます。

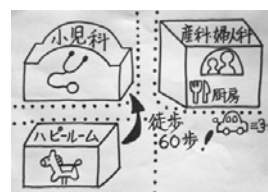
病後児保育室としてスタートしましたが、実際のところ急性期の子どもを預かることが多く、日々緊張の絶えない保育現場です。

様々な親のニーズを受け入れながら、支援のあり方について考えさせられることもあります。

最近では、産科・小児科併設という環境を生かして、出産後の親子の成長を見守る意味での支援活動をはじめ

ました。課題の多いハピールームですが、スタッフと連携をとりながら進めていきたいと思えます。

保育士 嶋岡 由紀
所在地:510-0235
三重県鈴鹿市南江島町8-10
TEL:0593-88-7717



東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

関東ブロックから 第3回 関東ブロック研修会 さとう小児科医院「バンビーノ」 佐藤 里美

平成16年11月14日(日)千葉市総合保健医療センターにて、第3回関東ブロック研修会が開催されました。今年の研修会は千葉ブロックが担当でした。4月より実行委員12名を中心に、県内施設の有志スタッフの協力と、千葉明德短大の学生さんにお手伝いをいただき準備を重ねてきました。東京から1時間ほどかかる千葉の地が、参加の皆さんに負担ではないかと心配しましたが、当日は134名の参加があり、盛大な研修会となりました。

当日の簡単なプログラムを下記にご紹介いたします。

<プログラム>

10:00 ~	受付開始
10:30 ~	開会のあいさつ
10:40 ~	講演 「絵本のなかの子どもたち」 吉村小児科 内海裕美先生
12:30 ~	昼食休憩
13:30 ~	分科会1 手作りおもちゃ 分科会2 保育室の衛生管理 分科会3 登録票や日々の記録用紙 分科会4 いろいろ相談
15:30 ~	第4回関東ブロック会の開催に向けて
15:50 ~	閉会のあいさつ

講演会では、都内の保育園を中心に、自ら絵本の読み聞かせをされている内海先生に絵本の紹介、絵本選びについてお話いただきました。先生のお話を聞いていく中で、絵本の中の登場人物を、自分や自分の家族に置き換えて聞いておられる方も多かったことと思います。親子関係、兄弟関係に秘められた暖かくそしてせつない感情に共感し、あちらこちらで涙を誘う場面も見受けられました。

午後の分科会は各自興味のある分野に分かれ、交流を深めました。「手作りおもちゃ」の分科会では、50点を越える展示品を手に取り、その製作スタッフと日々の保育について会話を交わすなど、和やかな分科会となりました。「保育室の衛生管理」においては、薬品を使用して手の汚れを視覚に訴えることで、手洗い方法の見直しをする機会を得ることができました。「日々の記録用紙」では、実際に使用している保育記録をもとに、いくつかの施設からプレゼ



ンテーションをしていただきました。記録内容の項目や必要性、記録に要する時間、記録物の保管など活発な意見交換がされました。また保護者の声からは、病気の我が子がどんな様子で過ごしていたのか、あとで記録を読むことが楽しみであり、その中身から、ひとりひとりを丁寧に見てくれている様子も伺えるとお話をいただきました。「いろいろ相談」~予約方法、キャンセルは、医師・看護師・保育士が回答者となり、各施設との質疑応答形式で行いました。予約方法、キャンセルへの対処方法、遅刻に対するペナルティは課すかどうかなど、各施設が悩んでいることや試行錯誤していることは共通しているようでした。

半年間にわたる準備は、日々の保育との兼ね合いで大変でしたが、千葉の各施設の交流も今まで以上に図ることができ、充実感のある研修会となりました。来年度も千葉ブロックの担当となります。皆様のご意見を参考に来年度も楽しい研修会にしていきたいと思っております。

中国ブロックから 第7回広島県保育団体合同研究集会分科会「病児保育」 病児保育室「バンビ」 増田 宏

平成16年11月14日に広島市で開催された第7回広島県保育団体合同研究集会の分科会「病児保育」に広島県、山口県、岡山県から15箇所の病児保育施設で勤務する医師、看護師、保育士など約50名が参加しました。

午前は、まず広島市内で新規に

開設された二つの病児保育室(広島市西区「ピッピーの森」、広島市南区「みどりキッズ」)からの施設紹介が報告されました。施設規模、隔離方法、スタッフの勤務体制、延長保育、利用料、土曜日の開設などについて、他施設からの質疑、議論が活発に行われました。



病児保育室の性格上、利用者が一定でなく、利用者にあわせてスタッフを配置する必要があるため、どの施設もスタッフの勤務体制には悩んでいるようです。また、延長保育や、利用料を安くするこ

東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

とが利用者から要望されることがありますが、実際、経営的にはなかなか困難なことが多く、それぞれの施設での事情が議論されました。

広島市は土曜日の開設を求め、一方、福山市は土曜日の開設は必要ないという行政の対応に地域差があることが報告されました。また、広島市安佐北区で新規開設を計画している施設が紹介されましたが、広島市は現時点では補助金が出せないということであり、広島市への対応について議論されました。



次に、安芸郡府中町の「病児保育室バンビ」では、病児保育に加えて、保育士が医院の待合室で保育活動を行っており、医療保育士のあり方についての提案が行われました。保育士が小児科医院でどのような活動を行うことができるかということについて質疑応答が行われました。

午後は、4つのグループに分かれ、活発な議論が行われました。施設長を中心としたグループでは、主に、利用料金、新規開設施設の支援、啓発活動など行政との対応について議論されました。

新規開設施設を中心としたグループでは、保育、食事、消毒、感染予防などについて既存の施設からアドバイスが行われました。

医療保育士をテーマとしたグループでは、保育士が医院でどのような活動を行っているかについて

議論されました。

もう一つのグループでは、病児保育全般にわたる様々な問題について議論されました。

会の最後に助言者の安芸郡府中町の病児保育室バンビの増田より、「病児保育室は、全国的にも施設数が増加していますが、地域によりさまざまな形で運営されています。未だ発展途上であり、どの施設でも試行錯誤で運営を行っているのが現状です。今後も、このような交流の場を持ち、情報交換しながら、よい病児保育室を作り上げましょう。また、現在、病児保育室の認知度は決して高いとは言えません。積極的に地域での啓発を行いましょ」と提案が出されました。

最後に、来年の広島市での全国保育団体合同研究集会での再開を約束して散会しました。

東北ブロックから 第2回 北東北病児保育室交流会 城東こどもクリニックことりの森 竹内 郁子

平成16年10月16日(土)・17日(日)岩手県盛岡市かんぼの宿盛岡にて第二回北東北病児保育室交流会が開催されました。

北東北病児保育室交流会は、青森、秋田、岩手三県の病児保育事業実施施設及び事業に関心のある施設間の交流を目的として昨年立ち上げられました。今年は16日に食事をしながら楽しい懇親会、17日の10時から15時まで交流会が行われました。17日午前中を演題発表とし、3年間の実施報告(明星保育園 病後児保育



室プーさんルーム) 開設後二年あまりを振り返って(山口クリニック キッズケアルーム風船) 保育看護計画について(城東こどもクリニック 病児保育室ことりの森) 病児保育所と予防接種(岩手愛児会 たんぼぼ病児保育所)の4つの発表がありました。

また、交流会の運営方針について、会費、次回開催地、次回事務局について今後につなげていくための話し合いがなされました。

午後は、3つの分科会に分かれ、活発なディスカッションが行われました。岩手愛児会たんぼぼ病児保育所職員の先生方による簡単作って遊べる楽しいお弁当箱『おにぎりサンドイッチ』では、参加者が実際に手作りおもちゃを作りました。『保育看護の実践』では各施設の病児保育記録、保育看護計画、施設パンフレット、ニュース、写真を見ながら日ごろ抱



えている悩みや工夫など、お互いに情報交換しました。『施設運営上の課題と問題』では経営上においての問題、スタッフ間の共通理解など、施設長、これから開設を予定している施設がお互いに困っていることや取り組んでいきたい課題を話し合いました。

今年は12施設28名の参加者があり、去年よりさらにたくさんの施設の先生方と交流でき、本当に中身の濃い2日間でした。

交流会開催にあたり、山口クリニックキッズケアルーム風船院長山口淑子先生はじめ職員の皆様方、岩手の先生方には大変お世話になりました。これから発展させていくためにも北東北の施設の皆様、来年の開催地は秋田ですので一緒に盛り上げていきましょう!!

診察室から 4

病児保育室「なずな」

医師 前田 敏子

木枯らしが吹くころになると、年中行事のインフルエンザの予防接種が始まります。今年も例年のようにはじまりました。インフルエンザの予防接種は乳幼児への効果がいまいちだとか、去年はワクチン株が“はずれ”だったとかで話題に事欠きません。それはまた、ワクチン接種にくる子どもたちにとっても同じです。ワクチン接種の後、“がんばりシール”の中にお気に入りのシールがあったのだ、気に入らないのだ、どれにしようかと迷いに迷うのだ、とりあって喧嘩する兄弟だの、泣き声と喚声でワーワー、ギャーギャー大騒ぎの診察室です。

「大きなお姉ちゃん、お兄ちゃんがいるのね。」「へー、大きくなったのね。あなたが中学受験？高校受験？大学受験？」なんて、成長に感嘆しつつ、その家庭を垣間見ることもあります。

Aちゃんはまだ生後8ヶ月の赤ちゃんです。このひとがAちゃんのお父さん？。赤ちゃんにインフルエンザを感染させないように、おかあさんと一緒に接種にきました。「注射にがてなんだよねー。」と蒼い顔をしながら注射をうけていきました。・・・お父さんは辛いよ。

B君はもうすぐ、小学生。先ごろより、三種混合ワクチン、日本脳炎ワクチンを接種、こんどはインフルエンザワクチン接種にやってきました。毎週注射なのに、嫌がりもせず頑張って受けています。いろいろ家庭に問題があつて(と推察ですが)長らくネグレク

トを思わせるこどもだったので、やっとワクチン接種に連れてこられるほどお母さんの心は安定したのかな。そういう意味からいえば、インフルエンザワクチンは余裕のシンボルみたいなものですね。

先日休日診療に行ったとき、近くの喫茶店にお昼を食べに行きました。週刊誌を読みながら、ランチを待っていると、幼児を連れられた熟年の夫婦が隣に座りました。しばらくして、隣の子供がじーっとこちらをみているのに気がつきました。あまりにじーっと見ているので、ふとみってみるとそのこどもはたまにクリニックにくるCちゃんでした。

3年ほど前、ゴールデンウィークの週に若い夫婦が乳児を連れてやってきました。ゼーゼーしていて喘息様気管支炎あるいは気管支喘息でした。そう告げたところ、「喘息だつてー。」と若い二人は大喜びでお互いをみて笑いあったのです。喘息なんていったら、むしろびっくりしたり、詰め寄って否定させようとする反応が多いので、意外な反応でした。東京で診察を受けていたとの事で、確かめてみると帰省中とのことでした。カルテの年齢から逆算すると、妊娠6ヶ月で高校を卒業、大学に入学、夏休みに出産と推測されました。それは、それでむしろ珍しく勉学に頑張っている姿に思えました。

それ以来、帰省するとごくまれに受診したり、おばあちゃん(といっても私と同じぐらいの年齢)が連れてきたりしていました。あ

る時からお母さんではなくおばあちゃんが育てているようでした。そんなある日の喫茶店での出来事でした。おばあちゃんに挨拶して、お互いに奇遇に驚きあいました。

そのあと半月ほどしてCちゃんがインフルエンザの予防接種にやってきました。おばあちゃんは「この子はのどが痛いというのですが、こどもの言ってることだしね・・・」。診察してみると、確かに咽頭は発赤していました。「すごいわね。こんな小さいのにのどが痛いとはよくわかるのね。」おばあちゃんも「こどもが言ってることと思って、無視してたら」と。抗生剤を投与して予防接種は中止しました。二人にほめられてCちゃんは得意満面でした。

翌日、発熱と少し発疹があると再度受診されました。「保育園で溶連菌感染症が流行っていたんですが・・・」。溶連菌の咽頭迅速テストをしておくべきでした。(しまった、後の後悔、先にたたず。)

Bちゃんは3週間ほどしてから、再びインフルエンザの予防接種にきました。「さあー今度は大丈夫」と張り切ってワクチンを接種したところ、「バカー、注射いやだー、先生なんか嫌いだ、大嫌い!!」と泣き喚き、まったく嫌われ者になってしまいました。きっと、注射を先送りしたのでとてもいい印象をもっていたのでしょう。あーあー、せっかく親しみをもってもらっていたのに・・・。小児科医はつらいよ!。

インフルエンザの予防接種、人間模様さまざまです。

し〜保育日誌 4

エンゼル多摩

保育士 小川 明子

「アツキは六年間本当に大変お世話になりました。エンゼルさんがなかったら母は仕事を続けて行けなかったと思います。お蔭様で春から一年生です。感謝の気持ちでいっぱいです。」これは、正月

の休み明けに出勤した保育室で目にとまった、かわいい写真入年賀状の中の一枚でした。私達はこうして、働く親や子どものために仕事をしているのだと、心新たな思いでの新年の第一歩でした。

エンゼル多摩はこの2月、開所して早10年目を迎えました。当時を思い起こせば、高熱の子を腕に抱き、伝わる熱感や悲しさで保育している側が心打ちのめされそうな気持ちでいました。きっとそ

の時、適切な処置や見通し、そして彼を取り巻く背景をくみ取れる余裕があったのなら、しっかりと受け止められていたのでしょうか。そんな葛藤の日々の中で病児、そして病児の親と心寄り添って行くことを学んできたように思います。

まだ4～5ヶ月の赤ちゃんは、静かなわらべ唄を口ずさんでいると、目と目をあわせにっこり。言葉はなくても笑顔で話しかけてくれます。2～3歳の児にとって、プラレールを組むのは大変な作業です。手を取って一緒につなげているうちに一人で迷路のような長い線路が出来ます。そこに寝そべって、走る汽車を見つめている笑顔は宝物です。5～6歳の児と一緒に紙工作やゲームをしていると、白熱の一日があつという間に過ぎてしまいます。そして、「また、あしたもエンゼルくるからね!!」と言って帰っていきます。

毎日のように悲しい出来事が報じられる日常だからこそ、病児に限らず、このような場が必要なのではないかと、日々子ども達と過ごしている中で感じています。

こうして、これからもたくさんの喜びを貰い、一人一人の心に寄り添った病児保育を心がけ、前進していきたいと思っています。



秋 ミニ運動会



節分 豆まきごっこ



節分 鬼の描画 5才・3才



がらくた製作

新規加入の全国病児保育協議会施設

300 (社)四国大学福祉会
四国大学附属保育所
所長 阿部 學
〒770-0831
徳島県徳島市寺島本町西 2-35-9
TEL:088-602-4860 FAX:088-602-4863

301 大津町子育て支援センター
病後児保育施設「ひまわり」
大津町社会福祉協議会会長 大村 直純
〒869-1235
熊本県菊池郡大津町室 151-1
TEL:096-294-9511 FAX:096-294-9511

302 (医社)しねんじゅく とのうち小児科
理事長 殿内 力
〒224-0066
神奈川県横浜市都筑区見花山 14-5
富士見が丘ビル2F
TEL:045-942-1777 FAX:045-942-0160

303 西合志町保健福祉センター
病後児保育室すこやか
事務局長 出口 増穂
〒861-1102
熊本県菊池郡西合志町須屋 2251-1
TEL:096-242-7000 FAX:096-242-6635

304 あひるハウス
院長 増田 隆二
〒868-0035
熊本県人吉市五日町 44 増田クリニック内
TEL:0966-22-3570 FAX:0966-22-5883

305 緑園なえば保育園 たんぼぼ保育室
園長 青木マリ子
〒245-0002
神奈川県横浜市泉区緑園 4-4
TEL:045-810-6131 FAX:045-810-6231

306 高岡クリニック マミールーム
施設長 高岡 敦
〒299-0111
千葉県市原市姉崎 688-2
TEL:0436-62-0036 FAX:0436-60-1316

307 今野小児科医院病児保育室ピノキオ
医師 今野 貞夫
〒263-0041
千葉県千葉市稲毛区黒砂台 3-2-51
TEL:043-256-8779 FAX:043-256-8779

308 病後児保育室「ぴっころ」
病院長 小林 勲
〒945-8535
新潟県柏崎市北半田 2丁目 11-3
TEL:0257-23-2165 FAX:0257-21-5540

309 ぞうさん保育室
医師 橋野 かの子
〒849-0922
佐賀県佐賀市高木瀬東 4丁目 14-3
TEL:0952-31-0020 FAX:0952-31-0016

310 病児保育室 さくら
院長 梶原 哲郎
〒338-0824
埼玉県さいたま市桜区上大久保 837-21
TEL:048-857-3195 FAX:048-857-3195

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXやメールでお送りください。直接回答させていただきます。ニュース等に掲載させていただきます。

送付先: FAX 06-6442-5788、メール fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

好評販売中です

「病児保育10年のあゆみ」

病児保育協議会が発足してから12年目を迎えました。発行計画から2年おくれましたが、みなさん待望の10周年記念誌「病児保育10年のあゆみ」がやっと完成しました。発足から10年間の協議会の歩みを網羅した貴重な資料を豊富に掲載しています。ぜひ、御購入ください。

B5版 104頁

内容

第1部祝辞、第2部座談会、第3部10周年今後の課題、第4部病児保育の現場から、第5部保護者・利用者の立場から、第6部資料

価格は 1冊1600円(送料・税込み)

申込は、全国病児保育協議会事務局まで

お詫び

第34号の「施設紹介」コーナーで、施設名「病児保育室リトルベア-」と掲載しましたが、正しくは「(医)愛幸会くまだ内科クリニック病児保育室リトルベア-」でした。関係各位の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。(広報委員会編集部)

新規加入の全国病児保育協議会施設

310 病児保育室 さくら
院長 梶原 哲郎
〒338-0824
埼玉県さいたま市桜区上大久保 837-21
TEL:048-857-3195 FAX:048-857-3195

311 キッズクラブ フィロス
理事長 前田 吉昭
〒470-2104
愛知県知多郡東浦町字生路字門田 96-2
フィロスビル
TEL:0562-82-1008 FAX:0562-82-1080

312 社会福祉法人つくしんぼ福祉会
つくしんぼ保育園
施設長 塩満 克也
〒882-0864
宮崎県延岡市塩浜町 3丁目 1752-9
TEL:0982-21-3500 FAX:0982-35-0526

313 はっぴー
院長 大川 義弘
〒920-0848
石川県金沢市京町 20番3号 城北病院
TEL:076-251-6111 FAX:076-252-5881

これ以降の加盟施設は次号で

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させていただきます。原稿をお待ちしています。

<協議会ニュース 編集事務局>

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-5

(株)関西共同印刷所内 藤本 文孝 宛

TEL.06-6453-3675 FAX.06-6442-5788

E-mail fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

全国病児保育協議会事務局

〒870-0943 住所：大分県大分市大字片島 83-7 大分こども病院気付

担当：伊東 美紀 電話：097-567-0050(代表) FAX：097-568-2970